

《担当者名》池森 康裕 sr528@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

利用者の尊厳と自立（律）した生活を支える観点から、必要な知識と技術を学ぶ。特に生活関連動作のもととなる「移動・移乗」の知識と技術を学ぶ。

【学修目標】

1. ICFの視点を生活支援に活かすことの意義を理解する。
2. 利用者が自立した生活がおくれるよう、生活の概念や生活支援の方法を理解する。
3. 自立に向けて安全・安楽な移動ができるために、身体状況に応じた生活支援技術を習得する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 生活支援の理解	この科目で学ぶこと - 科目の位置づけについて理解する。 介護福祉士が行う生活支援の意義・目的を理解し、説明できる。	池森
2	生活支援と介護過程	ICFに基づく生活支援を理解、説明できる。	池森
3	他職種との連携	生活支援とチームアプローチを理解し、説明できる。	池森
4	自立に向けた移動の介護	移動の意義と目的を理解し、説明できる。 (廃用症候群)	池森
5	移動・移乗の基礎的理解	移動動作の基礎理論について理解し、説明できる。 (ボディメカニクス)	池森
6	対象者に応じた介護	感覚機能・運動機能が低下した人の生活を理解し、説明できる。(高齢者疑似体験)	池森
7	自立に向けた移動・移乗の介護	体位変換の介護を理解し、説明・実施できる。 (ベッドメイキングと上方移動)	池森
8	自立に向けた移動・移乗の介護	体位変換の介護を理解し、説明・実施できる。 (水平移動と起き上がり介護)	池森
9	自立に向けた移動・移乗の介護	体位変換の介護を理解し、説明・実施できる。 (起き上がり介護と安楽な姿勢保持)	池森
10	自立に向けた移動・移乗の介護	身体に障がいのある人への立ち上がりと歩行の介護を理解し、説明できる。(杖歩行)	池森
11	自立に向けた移動・移乗の介護	車いすの機能と安全な使用方法を理解し、説明・実施できる。(室内)	池森
12	自立に向けた移動・移乗の介護	車いすの機能と安全な使用方法を理解し、説明・実施できる。(屋外)	池森
13	自立に向けた移動・移乗の介護	車いすへの移乗方法を理解し、説明・実施できる。(全介助)	池森
14	自立に向けた移動・移乗の介護	車いすへの移乗方法を理解し、説明・実施できる。(一部介助)	池森
15	生活支援と福祉用具	福祉用具(介護ロボット含む)を活用した安全で安楽な移乗介助を理解し、説明・実施できる。(ノーリフティングと事故予防)	池森
16	安楽な姿勢・体位の保持	褥瘡の予防について理解し、説明・実施できる。	池森
17	自立に向けた歩行介助	視覚障害者のガイドヘルプを理解し、説明・実施できる。(学内)	池森
18	自立に向けた歩行介助	視覚障害者のガイドヘルプを理解し、説明・実施できる。(学外)	池森

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
19	自立に向けた移動・移乗の介護	身体に障がいのある人の、起き上がりから車いす移乗を理解し、説明・実施できる。	池森
20	自立に向けた移動・移乗の介護	身体に障がいのある人を、車いすからベッドへ移乗し、臥床介護を理解し、説明・実施できる。	池森
21	対象者に応じた介護 右片麻痺の高齢者介護	感覚・運動・認知機能が低下した事例を通して理解し、介護の留意点を説明・実施できる。(事例A)	池森
22	対象者に応じた介護 右片麻痺の高齢者介護	感覚・運動・認知機能が低下した事例を通して、コミュニケーションの留意点を理解し説明・実施できる。(事例A)	池森
23	対象者に応じた介護 左片麻痺の高齢者介護	感覚・運動・認知機能が低下した事例を通して理解し、介護の留意点を説明・実施できる。(事例B)	池森
24	対象者に応じた介護 左片麻痺の高齢者介護	感覚・運動・認知機能が低下した事例を通して、コミュニケーションの留意点を理解し説明・実施できる。(事例B)	池森
25	対象者に応じた介護 右片麻痺の高齢者介護	感覚・運動・認知機能が低下した事例を通して、自立に向けた移動介護を理解し説明・実施できる。(事例A)	池森
26	対象者に応じた介護 左片麻痺の高齢者介護	感覚・運動・認知機能が低下した事例を通して、自立に向けた移動介護を理解し説明・実施できる。(事例B)	池森
27	福祉用具の意義	生活支援における福祉用具の種類を理解し、説明できる。	池森
28	福祉用具の意義	適切な福祉用具を選ぶための視点を理解し、説明できる。	池森
29	多職種連	他職種の役割と介護福祉職との連携を理解し、説明できる。	池森
30	全体のまとめ	この科目で学んだことの振り返りを理解する。 授業全体を通じた質疑応答	池森

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

筆記試験50%、実技試験50%

#### 【教科書】

介護福祉士養成講座編集委員編集：最新・介護福祉士養成講座 6 『生活支援技術』 中央法規 2019

#### 【参考書】

介護福祉士養成講座編集委員会編集：最新・介護福祉士養成講座14 『こころとからだのしくみ』 中央法規 2019

#### 【備考】

この科目は、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「生活支援技術」に該当する。

#### 【学修の準備】

1. 演習では動きやすい服装と上靴を準備すること。
2. 腕時計、イヤリングなどのアクセサリーは外すこと。
3. スカートや外靴では演習を受けられないので注意すること。
4. 講義・演習で渡した資料はファイルに保管して、毎回持参すること。
5. 演習を行う上では、次回の内容を事前にシラバスで確認し教科書を一読しておくこと。(60分)

#### 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2.1.3.4

#### 【留意事項】

演習時は、学生同士のグループで進めるので、遅刻・欠席は他の学生へ影響を及ぼすので次の点に注意する。

- 1.遅刻、早退、欠席は極力避けること。
- 2.15分以上の遅刻・早退は欠席扱いとする。
- 3.遅刻・早退3回で1回の欠席としてカウントするので注意すること。

**【実務経験】**

介護福祉士、社会福祉士

**【実務経験を活かした教育内容】**

臨床および地域での介護分野の専門職として、実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。